

サーロー節子さん 岸田首相に手紙

広島で被爆したカナダ在住のサーロー節子さんは7

日、岸田文雄首相に手紙を送り、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻と核兵器使用の示唆に対し、「今こそ、核兵器の使用や威嚇は絶対に許されない」というとを声を大にして上げ、世界中に向けて発信してください。今世界は、広島から声を必要としています」と訴えました。



即時停戦を中心願うところ、「米国による原爆投下の惨禍を身をもって体験した一人として、このような核の脅しを決して許すことはできません」と表明し

ています。

「こうしたなか日本で一部の政治家から、「核兵器の議論をすべきだ」という声が上がっている」聞き、私は大変に驚き口惑つております」とのべ、「核兵器が使われたらどのようなかを世界に訴えることが日本の役割です。それを使用する側に回るという選択肢があるはずがあります」と強調しています。

世界が核戦争の危機に直面するなか、核兵器禁止条約の意義はますます大きくなっています。今更の禁止条約第一回締約国会議に「是非とも出席し、その条約の目標の実現のために日本として世界をリードするという明確な立場表明を行ってください」と求めていきます。